

2020
9月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第193号-①【基準日 2020年8月31日】



🌸 社長メッセージ



ありがとうファンド 16周年を迎えて

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年も早いもので9月になりました。蒸し暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

先月も相変わらず新型コロナウイルスの感染拡大は日本を含めて世界中で収まらない中、マーケットでは引き続き主要国政府・中央銀行による金融緩和・財政出動によって株式市場は下支えされている中、経済活動回復と企業業績の回復を見越して世界の株式市場は総じて上昇した1ヶ月になりました。

特に日本株については、欧米先進国、新興国に比べて相対的に出遅れていましたが、安倍首相の突然の辞任発表があり一時乱高下するものの大きく上昇いたしました。そのような中、ありがとうファンドについては、月間で+4.5%の上昇となりました。月中には基準価額が初めて21,000円を超えて過去最高値を更新いたしました。



ありがとうファンド第16期決算

さて、皆さまのありがとうファンドは8月末に第16期決算を行いました。コロナ禍の非常時の中、こうして無事に決算を迎えられるのも、お客さまをはじめ、株主、役職員、投資先関係者、取引先等、皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

この一年を振り返って見ますと、まずマーケットでは、前半の今年2月初めまでは米中貿易摩擦の悪化懸念による調整や日本における消費増税による駆け込み需要とその反動減、米国景気拡大のピークアウトが懸念されながらも、株式市場は米国を中心に大きく上昇しておりました。

後半は一変して、2月後半から3月にかけては新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し始めたことにより、コロナショックとなって世界の株式市場は短期間で大きく下落して高値から30%程度調整いたしました。各国政府・中央銀行による迅速かつ積極的な金融緩和・財政出動によって株価市場は下支えされ、2番底懸念はあるものの、特にハイテク・ITなどのテクノロジー関連や医薬品などのヘルスケア関連などのクオリティ・グロース銘柄が牽引していく形で上昇し、コロナ前の水準を回復してきました。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

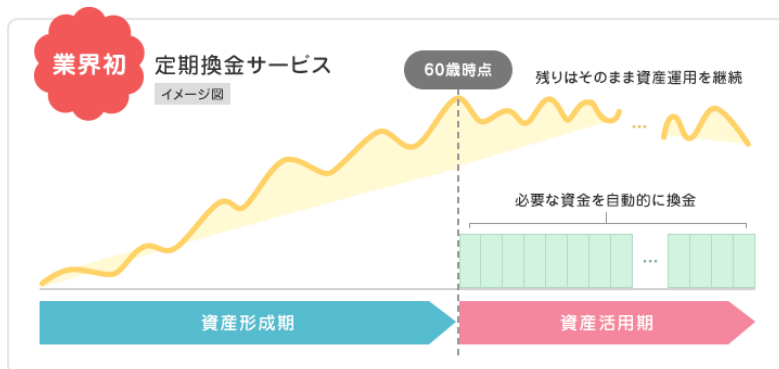
世界の株式市場はV字回復してきましたが、ロックダウン・緊急事態宣言による経済活動の落ち込みにより、各国の実体経済はコロナ前の水準には程遠い状況で株価との乖離は大きくなっています。

そのような中で、ありがとうファンドの年間の騰落率は、+20.9%の上昇となりました。参考までに世界株は+16.2%の上昇、日本株TOPIX配当込みは+9.8%の上昇でしたので、相対的に良好な運用成果を残すことができました。

その要因としては、投資先ファンドが持続的に成長していけるクオリティ・グロース企業を厳選投資していること、コロナショックで市場全体が下落する中でも市場全体よりも下げ止まったこと、回復局面では、それらのクオリティ・グロース銘柄が上昇相場を牽引したことによるものと考えております。また、株式との相関が低く、有事のリスクオフ局面で価格上昇が期待できる金(ゴールド)ETFを保有していたことによりポートフォリオ全体のリスクを抑制してリターン向上に貢献したものと考えます。なお、運用報告の詳細につきましては、9月下旬頃に交付予定の「交付運用報告書」をご確認いただければ幸いです。



また、サービス面では、お客様の資産運用をサポートする仕組みとして2006年より提供している「定期換金サービス」を拡充して、昨年12月より業界で初めて「定率」での換金にも対応いたしました。資産運用を継続し、資産寿命を延ばしながら資産を取り崩して老後に使っていく優れた仕組みであると考えております。



定期換金については、昨年話題になった「老後2000万円問題」の発端となった金融庁審議会の報告書の中でも資産形成・管理として運用しながらの取崩しの必要性に触れられていました。金融庁審議会の報告書を受けてからか、大手ネット証券や同業他社でもようやく定期換金サービスを導入し始めましたが、業界全体に普及していくには色々と課題があり時間がかかるのではないかと考えます。

その一つの理由としては、定期換金サービスに期待される役割を今まで担ってきたのが、高齢者に人気の毎月分配型ファンドです。長期の資産形成に向かず分配金利回りを高くするためにリスクの高い資産を組入れたり通貨選択型など複雑な仕組みでコストも割高なファンドであるとして当局からも指摘にされてきましたが、毎月の分配金が仮に元本払戻金であったとしても、定期的なキャッシュフローとしてのインカムニーズは根強くあり、銀行や証券会社などの販売会社では既に沢山のファンドが販売されて保有している人も多いのが現状です。そのような人達には定期換金によるキャッシュフローニーズは少なく、また販売会社や販売員側にも収益構造的にファンドの定期換金、売却を積極的に勧めるインセンティブが生じにくいことが考えられます。

弊社のように運用会社が直販でお客様の資産形成から資産活用まで資産運用をワンストップで一生涯サポートしていく目標や使命がなければ、積極的に導入するのは難しいのではないかと考えます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

資産運用の目標に向かって長期で継続していく

ありがとうファンドは16周年を迎えましたが、100年に一度と言われたリーマンショック後の10年は金融緩和による景気回復拡大によって、株価は上下しながらも右肩上がりの上昇を続けてまいりました。

そのような中で、今回の新型コロナウイルスによるパンデミックが発生し、株価市場は大きく下落し、実体経済は世界恐慌時並みのかつてない落ち込みを見せましたが、株価はすぐにV字回復をいたしました。この半年の株式市場の動きはまさにジェットコースターに乗っているかのようなものです。

資産運用で大切なことは、何のために投資するのか、投資目的や資産運用の目標は何かということです。そして、資産運用に成功して運用成果を享受するためには時間を味方につけて長期で継続していくことが必要です。

行動経済学では、人間は誰でも決して合理的に行動するわけではないことが研究からわかってきています。利益よりも損失を2倍に大きく感じたり、利益が出ているときは損失回避の傾向が強くなり、リスク回避的になってすぐに利益確定をしたくなったり、損失が出ているときは損失を取り戻すためにリスク追求的になって大きなリスクをとってしまったり、評価損が出ているものは損失確定を避けるために買値に戻るまで持ち続ける傾向があると言われていています。

マーケットが大きく上昇しようが、嵐に巻き込まれて暴落しようが、投資目的や資産運用の目標さえ見失わなければ慌てずに対処することができ、資産運用を続けることができます。反対に投資目的や資産運用の目標を見失ってしまった場合には、株価の上昇や下落に一喜一憂してしまい長期の資産運用を継続することは難しいでしょう。



またはお電話からお申し込みいただけます。

現在は、コロナ禍で先行き不透明で不確実性が高い状況ですが、皆さまの投資目的や将来に向けた資産運用の目標が大きく変わるわけではありません。

弊社では、お客様が資産運用で迷われてゴールを見失うことのないようにしっかりとサポートさせていただければと考えて無料個別相談も承っております。ご不安ご心配なことがございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。無料個別相談は[ホームページ](#)またはお電話からお申し込みいただけます。

今月からありがとうファンドの運用は17年目に入ります。私たちの使命は、今までもこれからもお客さまから託されたお金を大切に運用し、安定した運用成果を残してご期待に応えていくことです。

これからも短期的な相場動向に一喜一憂せずに、世界経済の成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散投資で基本に忠実に資産運用の王道を歩んで参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,539円	+13.1%
3年	18,358円	+14.2%
5年	17,150円	+22.2%
10年	12,933円	+62.1%
初回(2004年10月)から	11,687円	+79.4%



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万5700円
3年	36万円	41万1110円
5年	60万円	73万3427円
10年	120万円	194万5188円
初回(2004年10月)から	191万円	342万6133円

2020年8月31日現在(基準価額:20,964円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 ありがとうファンド第16期決算を行いました。

2020年8月31日にありがとうファンドの第16期決算を行いました。

収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、今期も引き続き無分配とさせていただきます。

決算内容詳細につきましては、9月末頃交付予定の「交付運用報告書」にてご確認いただきますようお願いいたします。[\(こちらに\)](#)9月末頃掲載予定)

🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

弊社では、2020年4月6日(月)より新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務を取り入れております。

つきましては、新型コロナウイルス感染拡大が収束するまでの当面の間、お電話フリーコール受付時間を10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【変更前】8:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)



【変更後】10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 9月分	受付終了	受付終了	9月7日(月)	9月15日(火)	9月17日(木)
2020年 10月分	受付終了	9月24日(木)	10月6日(火)	10月14日(水)	10月16日(金)
2020年 11月分	10月5日(月)	10月26日(月)	11月6日(金)	11月16日(月)	11月18日(水)
2020年 12月分	11月5日(木)	11月25日(水)	12月7日(月)	12月15日(火)	12月17日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

9月	7日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日
10月	-	-	-
11月	26日(木)	感謝祭	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。